

たしかし、その後内容は重に対応しているからであ
相当変わってきており、日
り、我が国としても、皆さ

た
(田中信也)

ホイール・ベアリング

整備不良で火災頻発

国交省が注意喚起

国土交通省は25日、ホイール・ベアリングの点検整備不良に起因した車両火災が多いことから、トラック

98件で、このうち車両・車軸に関するものは12件と1割超。

事業者に対して注意喚起した。特に、大型車に用いられる分割型ベアリングは、定期点検時に適切にグリスの補充、交換を行う必要がある――と強調。ベアリングのがたやオイルシール周りのさび、走行時の異音の有無などを整備工場で確実に点検するよう呼び掛けた。

調べたところ、ホイール・ベアリングの点検整備を怠ると、回転部位のグリスの劣化や漏れによる潤滑不良が発生し、走行性能に影響が生じることが確認された。
更に、異常を放置したまま走行を続けると、車軸や車輪周りに不具合が発生。車輪脱落や走行不能の原因となるほか、大型車の場合はホイール・ベアリングが

国交省の調査によると、2013年度に発生した整備不良が原因の車両火災は

焼き付いて車両火災に至る恐れがあるとして、トラック

ク事業者に適切な点検の実施を促した。(山上準人)

物流 ニッポン

2014 ' 7 ' 31 掲載